麒麟僧の大命を採して以來介日

國際の本地透鏡がいはれて來たの一いつた熱心さである

修養錬成を徹底的に實踐

成鍊民皇

総督の掛けるであらう統理権領を

六時間の國體論講義

3ようとの熱窓を示し出した、 「國體本義の透徹」は対応なるわが國領の本範を第一國二千五百萬は部目したのである」のころから漸く半島三年官民一國二千五百萬は部目したのである

正面なところ半路二千五百萬官民

鉄成の徹底

意図したものであつたらう、修養

錬成の効着々學がる

これが秘督の

氣持を反映して暗々と近行に移さ

を必要としたのである。そして初

總力聯盟の改組斷行

るものはなに総督が将附して止ま

ま踏出するといふのであった、然

仰事にて海町の上に寄せさせ給ふ製廠のほどは地に以き極みであるが、

駅、勅、秀任日 などに 拜謁仰 の御先導で傾腹に入削、御俊の を迎を受けさせられ、及川俊長

かそ

卒業生二同に劉し敬程修了の申

嶋田海和、及川核長以下帰員の一

【完】

日各局課の優合につれて新たに

下陛帥元大

れた、海軍大學校、大本総議領部への行政は去る昭和十五年五月以來大県電戦争下初の組みらせられ、決職で精験の機跡に急遽、因及精験する大本総議議場とも行業がの第一級に埋立つ海の襲離の秘域式に戦闘、なに遺跡の御後來大本総議議場とも行権がある。

幸遠は属寫御一臨親に式業卒校學大軍海下陛帥元大

屍俘虜四萬一

重慶軍に對し果敢なる進驟作戰を 實施しこれに大打嚟を與へたり、六き五月十九日以降宜昌對岸地區の天嶮に據る 江防軍及び第十集團軍主

五月十九日以降の戰果次の如し

つ)敵に與へたる損害。遺棄死體約一萬八千一

船舶二干トン級、貨客船以下

(ロ) 我方の損害 戦死二百二十七名統二百五十九挺、小銃二千五百二十二約一萬六千トン、各種火砲五十門、電

挺、小銃二千五百二十三挺・ン、各種火砲五十門、軍輕機關

重慶軍に對し果敢なる進骤作戦を 實施しこれに大打撃を與へたり、六月一日迄に判明せるき五月十九日以降宜昌對岸地區の天嶮に據る 江防軍及び第十集團軍主力その他約十二萬の大本營發表 (六旦百六時世) 一、中支那方面のわが都談は 公安西方地區の撃滅戦に引續

江南作戰完成上原態勢に復歸

海軍大學校 大本營海軍部へ行幸

には便殿にて御少憩の御のお同士

主なる鹵獲品 船舶約一萬六千トン、各種火(ロ)我方の損害 戰死四百七十五名三百、俘虜五千九百二十三 千九百二十七挺 千九百二十七挺、小銃四(4)敵に與へたる損害 潰薬死體約三萬六千 砲九十門、重輕機關銃四百七十一挺、小銃四

を達成し各部隊は 夫々原態勢に復歸せり、

六月一日迄に、判明せる 本作戦の 綜合戦果次の

卒業式に親臨

海軍部幕僚らに賜餐



【東京節語】政府は第八十二議會一決定し、いよく、四時議會召集の

貴衆兩院の協力態勢

本元郎の國際に帰し、會を代表し 【東京館店】郷贅政治僧では故山 鑑前に贈呈

て阿部派裁の名をもつて深厚なる

議案を事前審査

血溢腦い多口秋儿危

神經痛に の良薬

間の損害英軍三ケ年

ドン來館=アトリー英國副門

以來三ケ年間の英軍の損害を公表一日の下院において歐洲戰爭開始

然電によれば印度派遊及櫃輛軍 丘陵で交戦

分部は

敵船五十餘隻の **卜江作戰 に成功**

陸軍水上部隊の殊勳

| 田州沙市間の水路部開作威に引|

ロに及ぶ下江作職を開始、支那事は長江の御流を願って約目三十キ

米航空司令官豪語

義務教育廿一年から

事解 決 食然がめき (盛) は、ビクミンBその他の菜養

P 最新性感活ホルモン 物老期、老年期の 全国際店にあり 全国際店にわり、大田・海洋の東京地域であった。 大田 本製 薬 杯 式 會 駐 大阪市市区地域学 凝 勞力 耳倦 鳴怠 减衰

光齿〇型九

 1液
 肝臓
 脾臓

 育効主要 成分
 の

 飲
 金額なる有効に不ののののである。
 は役費元へ 映す品初の時 増名場所に取 諸既成知分の 機 1100歳 川・00 機 1100歳 川・00 A. ピタミン ABCD…L B. 受白質、螺分 ~モグロビン C. 肝酸 全ホルモン D. 神線 全ホルモン は、 ・ 対田的本館・関内のは太郎南古 東京市・神田原線治町ニノナー 東京市・神田原線治町ニノナー 劑 調 箱ガ場

要調 ヒラノ

で

「急所」のありかって戦った。

- 呈進書明説 -ばめ込申へ元度後 寸送急継明記まし幹

歌 特殊ホルモン補給療法とは? 動悸し、不眠で血壓高き方の 動悸し、不眠で血壓高き方の

目
会
ひ

耳鳴り

高壓中壓上的另

初製丸

際にわたる江南の山野に敵軍と軍一孫軍中の麾下にある時回

|神西北地區より自民国岸地區||九日以降城第六郎區司令長官代理||軍に対して張政床る領政作取を資源良能的|| 芸る五月上旬以來祠| であったわが中文部代表る五月十一久) 主力をのよか約十二萬の里塚

潰え去つた蔣介石線

はらびに共産軍の殲滅酸を城石中

主力および第十集団軍(監長王敬

"我景态元灵"。 五花元五元

回要概過終戰作区地岸對昌宜

次いで行政開発化に伴ふ総督 | は概力結集、生産増展は期してま | 別國の武勇を選挙すべく銃後にあ 兵となっては絶思

この時は 部幣もまた 一錬成員と

同保安課長など。自職参列の「為入」ことによって頭く高い継ずたる日 一年また一年と成月を関してゆく方法として探りあげられた勝策は くかにあらうが、集盟を飲成する

阿藥急送

東光藥業

たる侵が

ECHH

| 類道局類谷巡喩部長は二日次の如

焚焼に確信を得、こゝに多年の뾊

而してこの第一回の研究競表音は

統制會本格的軌道へ

乘る

まづ生産第一

一日本府で開かれた各道の畜産

說社

西川版版部物質の機解的地面を を討を楽しない。而して特に五 ではな楽しない。而して特に五

思ふに企業整備の問題は支那

たわけであって、國民としては

門を更に組織化し强力化する方

も早や甘んじて受取らねばなら ならなかつた運命に置かれてる

決戰下の半島畜産

議會長課産畜 示演長局田鹽

食肉に付て 解内に於け

協議會では夏季増盛を目指して輸出して輸送を持ちらびに感動

徹底的な増産を遂行

企業整備に協力せよ 定、ころに根本方針を確立した 提として概想、策定せられたも数の何れもこの企業の整備を前 課題がこの企業整備にあること は蓋し営然のことで、一日の閣 ればさきに決定せる八大國家計 である、従って臨時譲渡の中心 によって、その理由、その内容 につれて、次第に企業整備の歴 張を最大目標とする大きな級と 經済呼喊成の過程において、 へるに、逐次施策されたる政府

種類の緊急追加に過ぎさる嫌ひ或る意味に於いて翻奏策また報 沿つて弱化され來つたことは常

登場し、以來職時經濟の高度化。づ中小爾王鞏對策の名において なほそこ には披本 寒顔的な飲

単極物酸を実践とする我國威時 整備は今日部門的に交地域的に る程度成功せる域に達してゐる と従って一個時商業の再職成が或相當の域にまで競艇してゐるこ 悟せねばならぬ。 の戦争の至上命令であるとを数

本方針は一、末だ成力化せられ 労務に査材に設備に未だ取力と

へある整備の保有を認めてゐる 的整備が行はるべきば、監然の 飲の特殊事情が認められること 而して本要類は朝鮮に於いて

する協力如何にかくることを思 を握る鍵は政府の所割政治力强 弱如何であり、國民のこれに對 は内地と関り、維持官成の方針 が明示されて居り、この點所開

感するのであるが、なほ政府が 場下取続のたゞならぬものを描

歌歌獣を企踊してゐるところに

意である。既力増强は即ち米英

所以であるが、この點に對する

券證田秋 TH-IQENS

國洲

許許

三二五

見迅{

積 速

國 特特

川崎重工業新株を推奨の田の日の日

たい一途に取力増展の國策に列

を逃ってゐるが、現在賦內に於け 顕顕石の賦存狀況、機械、工作業 ヨークスの 統制組合結成

差、配給、勞務關係各機關の徹底 東株も八月迄取引

念は、脳の遊く様な、たとへば窓外

照り映えてゐるこの土地與自然

係である。

出世一债

に、 ・ 見る。 ・ は、 ・ は、 ・ さとをいる

既總

道 長

五百五十ヶ所 五 千 粁

贈型

呈錄

安 全

延 索

設

門に旺盛な獣作力は、なかり

やかさく仕切られた室々ではある しい朝を會場に出向いてみた。や

に即待するところ銘く、新線の美 は極めて平成。(野者は寒紋文化の原理であるこの展覧會 庭』に除聞めり『柔の花

常に素ひであった。半島に於ける

めた。豊岡稔氏の二版中

は日本美術 化と労女』

化大

洋畫を觀る

野

美

特許安全架空索道

化のためには積極的に企業整備を「げ、第二日は同じく午前八番年よ」配配の褒勲化に伴ひ越軍路震業員「昔、由つ忌懺なく意見の交換を強 申決定したが、これに對して東部 には現在行はれてゐる短期取引 【東京電話』七月から發足する日

飼料に付て、 各種家童

鐵鍋増産運動(新京二)要季地蔵を行ふものである

工者の

鮮内製材業に包含

機械所會議室の、撤産局長以下 設定と原材料供給側及び第一日

破害―大東亜酸下離々を名武勝を 大東亞戰爭戰死病者

至り朝鮮としても皆然、従來の中国の

も見逃し得ぬ四五點の優秀な

既いて、たゞ作品本位に安 い品があった。特選と云ふこと

職のに勝つことだ。 ものがある 盛に接するところに高語 る三輪晃勢氏は、五日 三輪晁 勢氏 ケッチ展を聞くが、あだ として京都派日本環境

乳汁分 泌不足に

へミスト 口 世帯

朝鮮牛に付て大東亞取

37 の総将顧打閣に一大革命を難したこうき総訂研究中のところ、このほどとど名無難表情を確信を得、輸送力と ぼすので縦腕においてはかねて縦 内に無器域を踏る無壁灰の使用に に観道の輸送力にも軍大限概を及 激に膨脹する石炭の常要は必然的 無煙炭使用に 凱歌揚る鮮鐵輸送陣 概道の輸送力に軍大影響を及ぼす

研究中、去る五月廿九日裡里機關いはれる鱂産無爐炭の使用を競意 これが解決を目指し殆ど無惑親と 心を有する人々は容易に諒解出來心を有する人々は容易に諒解出來

輕金屬增產を協議

成の 九、十宮一 大月晩曾を儲すが、 変る 日曜・日本マグネ、財産組務、東洋 二、大田 郷金瀬総献舎別議文部では、 変る 大田 原命 「中国 けんだい」 (金融 大田 原の 「中国 けんだい」 (金融 大田 原の 「中国 けんだい」 (金融 大田 原の 「中国 は特に言う、 独 二等度が深い (本の 大 八 年) 「中国 は特に言う、 独 二等度 が (本の 大 八 年) 「中国 は 一 1 年 の 1 年

九日、統制會支部會開催

等からる田脇、第一日は本府富蔵 著を練き午前八倍年から年島ビル ビ開催

本社寄託献金

一、五月中の生産資献と生産前盤 ※詳二、六月中生産資献と実際所列 ※詳二、六月中生産資料と実際所列 要開始別 四、工事遂行业に線察開始と発配 要開始別

象となるものゝ側から云へは確と

機一氏の二點、島井昇氏の二點、

して、此種の作品の少い留場に

るだけに注目されるとは、二つとも超重

は生殖なを担これ。 不二の両 総立するためには、文字通りこの ・蔵の様の様が創留のことき 総立するためには、文字通りこの ・蔵の様の規則を ・成蹊の現践院が緊縮する生態を ・図察の現践院が緊縮する生態を ・図察の現践院が緊縮する生態を ・図察の現践院が緊縮する生態を ・図述することになった、かくる際 となし、その他の各部は生産部 が影響と調者との中央に立ち、図 「でもまた近く主要工場に駐在員を 生産条件が関配になってくればく 一は勤勞の生産性耐上を目途とする 必至である、實際に即して総制は 勤勞管理に重點最後

総制出上に一種機を関した総制度 も成々の概をあげてから早くも一 年半に題々とする今日、関成期とい もがなべき第一段階から新く共版

代、星巻に城勢管理東側の四路で、開催したのは昭和十六年の十一月代、星巻に城勢管理東側の四路で、および石炭の開部門が卸工機會をで、第二が目路との理路緊密、および石炭の開部門が卸工機會を

生産の第一主義統制

下旬であった

制度の法的基礎をる重要産業関係

ことができるが、その重要なるも、決定されたのは勿論、現在のことのをあげれば、まつ生態第一主義。 き事態を強制をもしなかった時で

および自負責配しの認識を完化は、同節をその職して参えて認識をとれて自負責配しの認識を完化は、同節をその職して参えて認識をといっています。 要基一態をなす問題で、統制會が一る一方鐵觸究の恩強經驗者を組

ことが緊要となってきたためであ

次が縦横の連絡强化

かさ、場中での佳作であらう。室

石は直ちに最後の高潮概察政略に発展を表現して、一般のでは、一大田京城湾の後定で、一般のでは、一大田京城湾の後定で、一般のでは、一大田京城湾の後にで、一大田京城湾の後には、一大田京城湾の東京が、大田京城湾の

◇毎用協の研究會 五日 ◇毎用協の研究會 五日 ◇毎用協の研究會 五日

テマ日ニ

場劇城京

推場劇家寶城京

文化だよ

水島道太郎

目週二第4愈 りよ日三の 座 治 明

場劇草若

漫影 杉本正二郎

キノ正博 対 大公

根峰夕 大大型 中村 型 中村 型 中村 型 田本禮三郎 田 勝竜

ものが、今は者の酒であっまり、菅は酒の者であ

その着をことが、暦 ととが、暦 ととが、暦 ととが、暦 ととが、暦 とで変えると とで変えると で変えると で変えると で変えると で変えると

の音樂映畵!の音樂映畵!

明朗・健全唄つて張切るこの意氣で!!

7

彰郎明彦

れが全版に普及することになれ

至極層域であるが、これを全面的

き機能を加へることになってゐる 内地及び鮮内勢務者充足対策につ 西鮮商工相聯

を内野氏より報告、これに基き質

立國民學核三年生森山元敬

所張出鮮朝

東宝

大阪市東區今橋二丁目信銀ビル 顋

道

以城州黄金町、一八六三(電話本局(2) 安全素道株式會社朝鮮出張所 三井物産原城支店設成県内 第道の計版・最耐・見積・質物器音等の調相談に関す

索 株理 井物產業會社京城支店機械課

太會 社

像大な武脈は海軍漁の催化となって萬代に不滅の光亡を放っ 撃滅に南海の大空を紅に染めて渡國の華と散り砕けた巨星の

何にし育くまれたか、巨人の否ぱしき人格識見は如何に、こ

せてゐるのだ、帝國海軍の豆屋、故国本元融総忠の闘魂は如

威死した武人としてはじめての國 て名衆の武人協思都等甲種第一號

新の慰命を贈った山本元帥を今日

照歐日邀に拠込み、張戰中敬戰を 日路戦争であつた、少尉候補生で あらしめたのは低に三十七年前の

つけた手の 指三木を 失ったこと

等の提督元帥山本五十六大将今や亡く、見よ、太平洋か

故山本元帥の

偉大な一生

一覧線を優然と開閉し

久邇宮朝融王殿下元帥の靈に御拜

てゐる、脈々として國民の間に動一に生かせー

だ二日、 既くも久瀬宮

理職遊ばされた、殿下には午後

農る強山本元郎の

下殿王融朝宮邇久

油こそ既野の原助

功勞章親授式

| 拜受の光楽

歌凱るがあ 大いに遊り、窓々具歴 力であり、油の増

故元帥の靈に御拜禮 遺族に御懇篤なる弔詞を賜る ことから全館的に具態化すること の松炭油増議の契機は去る三月

、東京電話」像勘永へ一般委員長の御先導にて正腰の間に 外配し金餅一響に増産へ起上るこ 高トンの物産計器を決定、各道の かれた山林課長空間でニケ年〇〇

> **分着で見舞客のごつた返へす自宅** 生の試験を終了し二日午後四時五 空生として大日本學生航空候練習

の廃枝蒐集如何が成否を決する。完潔となつて父部隊長の遺志をなほ物産に関つては材料をる松、同う家が覚えましたでかって 古賀氏研究の結晶 元氣な姿を現はし左の近く殴り

脳深集を研究してゐたが、周圍の江原道際に前務中松の魔被から松 り全北金堤郡で試験的に質施中を し、出口技師の総大なる援助によ か機器をに認められたものである

得功率、功労道の親授式を舉行し

國鐵全職員の赤誠

ともに心身の疾成をなすこをとな

勢勝起を整調して変数徹底に回ち

統一に関して協議會を開催する等

再罷業に狼狽

森川益

本用途・工業用、工規用、修理的数然!」は來のパツキングを一次ぐし

望無ペードグ

を進め、これを主台にして際

増産へ全鮮一齊に總立ち

【東京電話】三十八萬國國金職員

総核を撲滅して人林の甦生を計ら 区前り方▲防衛指導▲經濟新削一果は期待される区前の被訴とであるとでその成別がある。

政府金槽里に懲骸地十萬三千四

中なので懲力ឃ盟では常會を平派 歷波, 全動勢者總數起逐運動期 る血の決戦の最期の怨みに米英麗

午前六時から開く

愈々議政府に建設 の間に對立を來してゐると傳 兩黨對立か英勞働保守

をもつて再度能業機織のため茨

信用一等

電話本局②二四九八番隊

青山商事バッキング部 原城が新川大和 原城が新川大和

町本城京 ・静ハハーロ)②本電 ・静ハハハロ)②本電

みのや臭味店

電話 ② 三二二二 朝鮮神宮参道入口

ハロルド・イツキーズは炭陽能数

【プエノスアイレス一日同盟】

三月まで、「蛟工るせる

度保守質の猛反對に塗って不成功同法の改正を企園したが、その都 に終って來た、しかしながら今回

同類範肢の建設に乗り出して「粉すると共に、常會では特に全動「苦悶してゐる複雑で、一般は極端の固衆に沿う一能、動勢新神を鑑らせて土壌を貫」内閣は極端の間に続い 数の客合世幣からなるチャーチル な支持を與へてをり保守、勞勵兩 に一掃され、更に印馬として徽用

全國的な徹底をはかるため積極

衆議院世話人會

自廿萬府民に最も深い関係をもつ | 『十錠でお釣り下さい』といふ不 | れで年額百五十萬國餘は府の金庫 るる時、京城道心域では海運営局一盛の結果、政府案の光定風パホらい。 **絶本で遺德を讃ふ** 一動する政府提出案の意識につき協 ケ騎正副職長ならびに各世諸人出かいて世話人會を開催、随田、内 日午前十時から院内部宮原授器に びに在郷代議士の上京を考慮し、

津田式パン

認識淡商

い乘客の協力

定の新税、第一日は先づ好成績

作製、山本元帥の幼年時代から壯 ことになり、目下資料の蒐集中で 動や遺標を第二國民の階 || 十二日以後各案に對する器査を開 ことに方針を決定し十一時半散會 のために進撃問題を中心に三日午 【東京電話】朝鮮疑巫密では來る

翼賛會事務局 後五時半から金蔵學生主事約二百

物局長會選第二日は午後一時再 【東京電話】大政策教會全國支部 長會議終了 全國翼壯團長會議

第二回

債

券

登出し

滅私羅公を要認し、三時より

【東京電話】輸送为強化、食糧増一部が全國協力で減しい時は同一語

基準十三項を決定公布

針を指示徹底する全國翼形態長角開すべき本年度翼肚派動の最高方 職は三日から二日間製造會本部大 の後をうけ强力なる質問運動を展

大門班一ノニムス 付中

日本勸業證券京城支店







各種旗、腕章、帽章、徽章メタル、筆墨・柳品・電人の一部に変し、一個大学が、日本の一般である。 吉備商會 御申込次第カタログ進星 東局(5)二、七八六番電話開通

荒鷲で遺烈を継が 参入、功労軍を拝受した 氣!山崎大佐の遺兒保之君談 | 野兵の忠烈を退仰し、さらに一旦 の一人一人に徹底頭化させるため 【海州電話】總力運動を受団班員 の男器を含みとともにこの感激の 校になりたいと思ってゐます 愛國班長らの錬成 総督府では総核撲滅の國策に沿う

で増産だ

行を練習し卒業と入もに是非將一ある奪光寺において朝五時より就「みたが監察」校に一銭で合前六銭すが朝韓の族閥を見て羽田で飛一成都是指揮のもとに首脳山中殿に「調した新祝は一日から一っ雲近原をすが朝韓の族人 水る ・ 実現 下げ 育代 v

日から同十三日まで府職盟上村郷

楽した新祝は一日から一窓質施を

で御奉公々の府民の郷産は館館特・電常務は野る

参でとの質問にかはり混雑も少く

カ、强力な意志を厳奏せしめるた

不拔の國際概念および大なる抱擁

け初めての試みとして町役員およ

ければならない、それが銃後の唯 ない中島二千五百萬民は斃れてない中島二千五百萬民は斃れてな 地域職域に生々耐劇と蘇へらさな を以て垂動した出本現は全日本の一筆武官時の後後を得て國葬日の五 関金額労者総配記型前。を全蔵要 を流域なく返理するものである。 数全額労者総配記型前。を全蔵要 を流域なく返理するものである。 6て展開、富公野、銀行、曾社、

勝的生蔵増强能率増進を耐つて敬

業能率を高めるため馬の使役用語「く作業能率にも影響を及ぼすので 6一致と増加してある時、脳の作)って脳の直役上不利不低の数が3数。10時代的契約に悪へて脳の利用。 が反対の意味を現はす場合さんも

國葬日から全鮮に週間運動 増强能率増進の資施要領は次の通 の職域の陳頭に斃れてのち已むの を道徳なく登地するものである、 ▲朔間中無映動及び無連刻を必行 時質施すること
が打破に関する方斑を樹立し即 中各職場無成を徹底せしむ

世八銭(パスを除く)にのぼりこ

馬の使役用語

| 蛟鰕精神と戦子として行ふ質行力| 貸配と自取の軍刑を元帥法と勝然| る部面にその名を雇仰されるに至| は吹い、それだけ元帥の人格を総本元帥が蛟鰕のポとともに總々の| 坂剱者でもあつえ、又ぶ人と私入| 蛇は一蹶世界的寒寒としてあらめ| 念、葉縣元賦足之郷土を蟹した人| 本元帥が蛟鰕のポとともに總々の「坂剱者でもあつま。又ぶ人と私入| 蛇は一蹶世界的寒寒としてあらめ| 念、葉縣元賦足之郷土を蟹した人| ているにと続き関はれた関| あり、無脳海歌を今日あらしめた| 十二月八日のあの日以來世本元 | 陸門といふことを口に出していっている。 ※種位の才能と関い 年八月末館から殿合経際司令基督 話が人の口と氾濫したものであっ、ずには出來なが、まつ元帥のあの のの顔泉はここにと保った人もなからう、昭和十四った、元郎を踏る言葉や数々の迷。ることは郷土と家計と弱核を知ら **解附 と出せられたとき元郎は大路管邸 た、俳レ元郎はかうした世人の街 鏃のやうな意志、あの常郷のやう**

は日本して在任した常時プナポから遠道で水交流へ行き、どうしらな過ぎを批評を懸けなかつた、半ス素維兵風夜を見帰した。あても自然に踊らない、離かが『No ひをすらえの責任を懸すた性概念を変を限に太平洋作戦を説明した。あ ても自然に踊らない、離かが『No ひをひらを動きた批評を懸けなかつた、武官として在任した常時プナポから直然というには、 何時でも島國と郷げるべき売買な、思はれ事変者世齢はいるこもでは「自命の身際は公の身間である。 環境機とも見られるつきら棒とも

公私を飽まで區別

をら、元献は**図**然をしていった、

嚴父の藩訓、慈母の情操に伸

は部かに手で削してってのまゝ、ものだ。その公の砲を渡りに深へはかいにあわて、図途で中止し、何時でも最適に郷げるべき洗束なは大いにあわて、図途で中止し、何時でも最適に郷げるべき洗束ないくしている。

死 誠忠 の精神と文學 艦に舞込んであたころ母病篇しの 見舞い、庭先の草花を手折って病 報に接し元帥は避々長時市に母を

元帥は帝國海軍航空隊の先職者で

を此へ

頭取って

そこから

海軍省へ

触は亚務打合せで上京する場合がしての役目が終った時だ。亚哲元

家へかへる時は自分と、ゆずには置かぬ温いものがあった

木の母堂を慰めた、しかし母堂は

が病気をからとて必然を怠っては、壁下に棒び撃つたものた。

● 車輪は從立

へも 取付 水のガスパ

店商七德田柴

解除 はな

この元帥の最病を拒み『お顔の闇

と語ったといる

り酸法が思はず想起されるではな いか、元朝が海軍兵學校を出て軍

ることなうた。これは往來便復用「開館各方面と協力、これが整國的一日にわだる實識を閉むたの悲魂が決定され公園に採用され、日本彫事會で臨城、陸軍衛はじめ「間き必死飛騰の決意を闡明して」

格な躾けの類は離れなかつた、これ、溢れるやうな感愛の中にも関 生勇職の跡を偲ばせてゐる、 とられぼろくとなった宮時の軍 病床の母堂に耐るで

頭で小断へで振くものと残った することが残り、この別車から 降り立つ不正統人から弱燃紙・ いのに不暇を抱き内々調べてみ

た本町郷では再三手入

色ずしなどを即で仕入れ再び街 別を作る老婆の群が多い 度は早朝の敗札口に行

朝鮮總督府許可濟 國 策 品 價格低準 愛國リヤカーの出現 を の方や側心配の人 の方や側心配の人 の方や側心配の人 の方や側心配の人 品 質 良 好 廉 特約店募集 举仕(企業許可不要) 和日ヤ スリ再生

と 川 明 大 和 町 三 七 丸 製造元 銅 輪 研 究 所 工 場 将湯







多大の収穫を興けて二日終了した 感をはじめ小院、中院政銀を変施

『田本提客を用ふしいる和歌集等

肚絶アツツ極守解除の鬼神も哭く

玉砕に観勃たる脳魂を献金に庇す

配給の適正化を聞つてゐる食樹園

題宮府留した
関盟師の修築樹語があつて五時間という。

機能給機械の政権に伴び一

公正配給に先づ隊員訓練

東大門食報隊で軍事教練

101 第1・28 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 |

學校において學校総力隊を組織し

本元帥松甲金百四、國防献金三百

今月も同額を献金した他山麓諸氏は

また海軍武官的へ、云づ京城波明

て飆力級盟を結成した場合、私立會社、工場等でその從認員を以つ

際の織忠義烈は、その報一たび解

に烈忠の海北

版十八日、一兵一暇 物ともせず、死回順 のともせず、死回順

の地接も求めず五月

眦

决

復

0

献

金

本格的のモンベに還れ

□三越内壁能有名化粧品版信念▲日三越内壁能有名化粧品版信念▲五十三個本町一丁一七九小林和丁▲五十三個本町一丁一一一一大小林和丁▲五十三個本町一丁一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一

ひ起つ

赤誠部隊

行気、標本みたいなのが の時、ギャルソンボッテ の時、ギャルソンボッテ のは、現対り)に男ズ ・ (別対り)に男ズ ・ でんで、ボンと相場が極っ

を街頭に膨したものです。 国際人になるアサマシキス

のんの餅吸亞店で朝鮮暗六路(一

経路)数科器関保証▲一〇・

罪の青年に被害者情の計ひ

不事的限に配されて止むなく暗郷

せねばならなかった、その途次病

若と認備を進めてゐる

進町、力の援助をなすべく目下着一

よ必ず

つたのであった、この青年の不遇 まし、空腹のおまり般の道に走

道より中島外帯課長、山下同主任は一日午後二時半から駅防會殿で 7族事情に鑑み防跳の完璧を別せ

徴兵の身な、



金南海南郡玉泉面生北朴四田(10)

根部隊の奮戦、

6二科展出品、 それより郷立展 出品、初特選となった京城元町一 隊の奮戰』を第二部(西洋波)に

深場訓練の基礎をつくるため維 練を行ってゐる とになった。 【釜山】決戦下海の幸をうんと 慶南沿岸の磯洗ひ

展示は 原職業、精神的、大型組合、 原職業、精神的、飲食店での他 原業署名に関しては風解制合服 等を基礎とする業地質制の配 のでは、現代制の配 の音及を図ることは影響質級数 らは道内漁組の自治的事業としりは道のに力を注いてゐるが今年かり意志、天堂、わかめ等海藻類の け應村大衆の動勢作業の手も出 週間と定め目下沿岸を四區に分 て去る廿日から五日までを政治

碧城郡の養兎増殖

表に墨のズボンを寮用し

この綜合築養剤からく はる体力と BMHBLは第一米が BB

一種ごとに高度AD始

観二人大賞一 間一供子

建築修繕數

が肝油ドロップス

至

引起前追其/他 整整整显3-27

館中場 仕の内

店開京

mekny的太 元基基

讚郎

が最終

料本 浦

京

農話本七五〇一

江原道ではこゝに早くから難岐場に最も適切と認められるので

先生らの

旱天何もの、鐵壁の灌漑陣

半局古來の趣問が深らされ今や る、太極局、芭蕉園、漆服等金州 既作が夜を日についで忙しく 組合の工夫研究によって一段と 國風は古來全州特盛品として引

的破賊振びを示し内賦各都市は年産職は十二萬餘回といふ飛翔

目指して
ふたが
然々
道内四
画町 前に衛工艦部用水線の確保を 全北紫内工製の称を綴つてゐる 勿論選く溯文方面にも輸出され

製造してある版創金南 として天水苗一掃に錦 では昨夏の段志を契機

出し貯水池、高池、南江など

業域貯組を强化

差 むる職場の比絶を凍べ を「蟹石に於る山根郡

き酸によって製作したものである 防へは特選の

を一品髪さず供出することに一を壁図班回報として配布した

に最安を與へてある機関は本容 |公州||地方の名物として 迷子 〒一日午後十時で五歳位

初めての作品である、作品

◎ 晴れの特選 紙上展覽 も全部治療費に使ひ果し路傍をさ

同氏を自宅に

2

低も削途和爲な声年でもありる一宝潤の継波を願ひ出たので原田 として既へ激励して立ち去らせた 朴君にこれから無一文ではなる

待つな待たすな 時間の勵行に努めよう

でするのも、知って、彼の手足を とすれば、こつちがあまりと観覧 かとすれば、こつちがあまりと観覧 か

低高場氏は、彼女

一脳るのであつた。

型配合 医柳病科毒的 人名英格兰

怒征るくス

なれた高嶋氏の私邸であった。

と、その時、草上の位話のベル

一待たずなきまつた時間々と整國班 いたしませう▲は同を建加し定

は間面競技を器動員、韓山間守路 及び耕作關係を徹底質査中である 築質原調査の正確を押し加平地で 朝鮮開発計量限定の基礎をなず 疑雎の下に調査はと協力して耕地 農業實態調查 【加平】

及土運車

洋裁生徒募集

















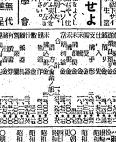
ドゴころ ţ

そく根

切り











世和托八年参月指参は政治している。
「現地方は第一世の大学には、「現地方は第一世の大学には、「一世文学」には、「一世文学」には、「一世文学」には、「一世の大学」とは、「一世の大学」とは、「一世の大学」とは、「一世の大学」とは、「一世の大学」という。「一世の大学」」という。「一世の大学」という。「一世の大学」という。「一世の大学」という。「一世の大学」という。「一世の大学」という。「一世の大学」という。「一世の大学」という。「一世の大学」という。「一世の大学」という。「一世の大学」という。「一世の大学」という。「日本の生」という。「一世の大学」という。「日本の生」という。「日本の生」という。「日本の生」という。「日本の生」という。「日本の生」という。「日本の生」という。「日本の生」は、「日本の生」は、「日本の生」という、「日本の生」という、「日本の生」という、「日本の生」は、「日本の生」という、「日本の生」というは、「日本の生」という、「日本の生」という、「日本の生」という、「日本の生」という、「日本の生」という、「日本の生」という、「日本の生」という、「日本の生」という、「日本の生」という、「日本の生」という、「日本の生」」という、「日本の生」」という、「日本の生」」という、「日本の生」」という、「日本の生」」という、「日本の生」」という、「日本の生」」という、「日本の生」」という、「日本の生」」という、「日本の生」」という、「日本の生」」という、「日本の生」」といり、「日本の生」」という、「日本の生」」という、「日本の生」」という、「日本の生」」という、「日本の生」」という、「日本の生」」」という、「日本の生」」という、「日本の生」」という、「日本の生」」は、「日本の生」」は、「日本の生」」は、「日本の生」」は、「日本の生」」は、「日本の生」」は、「日本の生」」は、「日本の生」」は、「日本の生」は、「日本の生」」は、「日本の生」」は、「日本の

避難盗犯として殿道取躙中 が布を強な、真陵川堤防の方面に 増産奉公へ 第2と協力して逮捕、所轄 置は祭蓋町一三七ノ一〇

とで、尻尾をつか求れるやうな質が、フロイスもちょつとやそつ

ふるさと (元)

微一つにもあの頭中は斑い酸素をと思ふのは油筋です。新服の砒香

かけると、彼等は、すぐ人種酸争

入らなる祭

[150]

中野 三芳 悌吉(繪)

實(作)

であると、この程森田除長以下自 よいよ本機に地産へ突進すること 五十名を以て挺身隊を組織し土城 【開版】高麗部年際では須藍順保 甘藷を栽培

についてゐるといふことだつた。 がへし、自分は風邪氣味で一日床 的ねて來た昨日の女連をそのまゝ

底的地蔵を加し肝動業課では肝内 **秋期を目認に控へ勢力不足歴家へ** 公私立初等風夜を総動員して墨面 學童らの田植

野ふ前はないやうに見えた。 に承知してのました。フロ 彼の行動については、何一つ



















飛び込んだ幸福・カースの一年での交通信乗ので通信を関する。





朝鮮に來た俘虜

朝鮮醫樂品的縣面丁山元四萬

朝鮮に來た俘虜

文化列植第日五十五駅一時半日曜十一時開場



海線を対して かば 日本により できません か は 日本により の 日

京日案内

を記言は関語音楽人創作中 タイピスト 芸状田

原路 伊藤 路

夜

商 ばス日

開催、劈頭小泉厚相の挨拶ありず

郎人留館において、小泉原相以下 て結成される大日本等務報園画の

【東京電話】日雕勞跡者およびを一に十一萬七千圓を計上してゐる

小泉厚相挨拶要旨

日傭勞務者を結集

各國務大臣副署

大日本勞務報國會創立

び網鎖を決定のうへ役員の委闘を

各道衛鹿器長及び保留衛鹿車務打一合町は二日午前八時半から総督府

(五) 編筆の領費及び發現の指 出(七) 霰鶴の供出

際田原林局長流示についで悪密府第四會顕著で開會、國民後總の後

など七項目に亘って説明を加へ、

戯たり、南

方洋

上 の 勇 士

(佐野海軍報道班與攝影、海班省許可濟第一〇一號|) 歌意

しての挨拶あつて曹則、買問およ

畜產事務打合會

増産の遂行に邁進

召集の詔書けふ公布

の如く公布された、威局の現政院、総戦軍を信じ美術として、優勢な類の部皆は二日附官報を以うて左一その現れである、後に譲く國民の ・ REMAN では、「「 REMAN では、 の膨熟を確立せりと鑑も敵米或は「たアツツ島の 忠霊に襲し 撤収なば、 をがりが既に厭略的に終對不敗」る敵軍に最後の突撃を放し王倅し は我が方が既に間路的に総對不敗一る敵軍に最後の突襲をなし玉成

御 名 御 蟹 御 名 御 蟹 の議會ヲ東京ニ召集シニ日ヲ以テ會期ト為スヘキコトヲ命ス W帝國憲法第七條及第四十三條三依リ本年六月十五日ヲ以テ帝

つたのち悲談を統行、響飛響報後

迎助(以上文化部關係)· 玄米食助,殿戲戲約整國迎助、隣組文化

度各國際の通過風景以外ならびに「關係」動主心域や土先供者観察運動、先づ關係諸國際代表から昨年「慰愛風地區型港運動(以上摩生都

令時に於ける不特定多数人を助員一普及運動、軍需増産供木運動、ヒー

近も勝ち抜く決意を披露、暖憩を脱掛の脳郡を決すべき本年度を飽 施策略に豫算案の協議を求める

通じて全國民の一般の緊急勇動を

意味に於いて今次臨時議會は正に要認することになってゐる。この 我が議留史上と云ふよりは我が國 **創、先づ期保護職態代表から昨年** 局長育誕第二日は二日午前八時開

シンス則倡政 が難職した。二日後 く、火しても速かに前級に送ると「要談これに割し出席者を代表して物行機を競戏を負債を収しても多」に朝鮮網際開発の意に対する應接方を にその熱性なみ心薬に刺し郷後は、現狀を開発に説明したのも出席名を開けなる日本精神を対明すると我一世命名を消長際上、膨慄は関節のを観けなったアツツ気守備気の一管成本テルドが無視に由来を才を |相は木臨時職會に於いて郷下車 ||総理に對する小職慰徴のなみく **密國ホテルに朝鮮關係既界有力者**

に全力を築けて協力する旨の決意 朝鮮の産業開發に對して今後とも ならぬ努力に敬意を表すると共に

【東京電話】 数費會全國支部事務 | する宣傳活動の處置(宣傳部關係) 建設的意見を交換 翼養會事務局長會議第二日 國民迎動頭化方策、醫界新隱制識

翼政會全國に運動展開

阪台レた、出席者の主なるもの次 | 準顯係) などを中心に週動展開を実明川続き組々懸抜を重ね二時 | マ糖磨敷約3動(以上生活動員) を建設的な意見を交換した、なほしむべき方策、地方の質問等質心 の国政除去、さらに迎動に仲張せ 部関係)などを中心に運動展開上 四長として在代中の所質を願み決 けふの脅議には午後二時安藤内相

引續き午後三昧から行はれた谷靫 要性を増加してある現狀に包及 大本の陸軍報道部長の特別調減に 間の一層の転動を要望したが、

正を加へ六月一日附をもつて左の「軍國司令官へ

世身し以て祖國職一アツツ島に於けるわが忠勇なる將一や一億國民はいよく一節力を結集 「原京電話」大原亜脳筆の書信前」長の散酵玉曜は皇殿は一般の態態 山本元献の壯烈なる威死、今また 決戦體制の確立

經濟閉發の援助要請 小磯總督財界人を招待 古の大業を完成せん乙とを期す 昭和十八年六月二日 昭和十八年六月二日 昭和十八年六月二日 優校等卒業生晴の海軍大學

日正午

一、「現点能器」大元郎匿下の設職を 「四宮、二日曜行された海軍大學校 「本文式と個下場。計変の象學と職 く町の優等卒業生法定の頻し 田航一海軍少佐(佐齊縣) 嶋田東郎海軍少佐(佐海縣)嶋 (甲和恩生) 掌規定改正 時局下の逐

よび電話局事務分等規程に一部欧

は、「ローマー日同盟」イタリー陸軍 の場合は五月世日附をもつて次の通り 陸軍参謀副長、空軍大將

伊陸軍首腦異動

新 新 新 新 新 東 12 立 確 の 防 後

▲分銀の新設・益山、平脚・大邱

各局に分割の新設分割を行ふ言告

● 房藥村木・城梁 ⑤281

強。

会

t,

絶えず仁丹で

胃膓を强力に働

渡頭 胃陽にに

のが最も有効が世栄養を進め

オーニ

戦場に

年間司令官へ

【リスボン一日同盟】ニュ 丘陵で交戦

六月二十日間

一戦力の増展、國民職意の助拐を推 ドウイン丘陵地帯で反極軸軍が日 來館によれば印度過避反極順年

緻きこの強闘精神を精神として今

適当しなければならない、疑認的 決死的監悟を もつて 必勝完勝に

総治力の結集観定る護政會は政府

復費的と 緊密なる 巡絡を保持し

間の均産、五大道點産業顕光・

國民士氣の鼓舞、波勵、休敵、

たと限へられる

自給策成る比島の食糧 語監

【風間低語】 地域印度監維新製 加回七時六分総路度上したが、地域同七時六分総路度上したが、地域同七時六分総路度上したが、地域同七時六分総路度上したが、地域では一個1年10年20年2年20年2日 1年10年20年2年3年2日 1年10年2日 1年10

なり、先股來総務會、各部機關の

一大國民運動を展開するこ

三三 練 ズマタイ ズマシ

座真精鋭を誇る豪華陣 意讀物長講二席 五日は田本元帥國界に付達で休寅亡と 朝日座

用意はよいかこの意気 酸化や鼻肺頭齒吹傷外 それれけか部 出や 後下とぜ縮縮漏物け傷 化中岛神丽姆吹陽外

時半より道府殿勢務報國會代表者 元咸相吉田茂氏が就任するとに正 なる側立記念式を駆行して午後六 式決定した、なほ引ついき午後一 型班長 的軍事宋勒院問題教 三岛 城也 常任劇問 愛族院職員

長 母族院職公元即相

▲協議事項=輸移出牛取引の因▲協議事項=輸移出牛取引の

宜昌、岳州で空中戦

ンタツキー、ペスビヤージニヤ、一米國の炭坑争議は再び悪化し、ケ

をビラが撤がれる有様で、 領金を の変約なき所、 労働なし」と書い

ペイオ、ペン シルパニャの 四一世の急速安給が見られない限り下

【ブエノスアイレス一日同盟】 # | その後さらに関係は刻々険製化し

米の炭坑争議再び悪化

龍記三大目標を 確定する

總罷業は不可避

日夜年の休暇期間溯了とともに一ケンタッキーの瞬山地帯では一日

陸鷲、電撃奮迅の活躍

國葬當日に遙拜式

の聖地アツツ島

念その総思に総鉱し、二千数目の最出速を選として米英酸減に勝ちてある。しかして事業数中の大部 飾ったアツツ高電船歌山崎大原以下の寒感と對し一飯魔殿はたエと「寒蛩、物質は治数など起出よされた』との決意をもって歌中に自及をかざして寒込み、壯烈な最加を「郷力鏡、職利廃生師成動、生活指 拔かればならねことを強くく関めたのである【繁集=右方の山の

神の記掛と國民助員への協力に近 は事業の重點を容員の動勞報國精 間で、他の大川分は事業型である 千四およびで、一切金の世界回、 主なるものは意数収入の百四萬一 趣欲は日州九四三千四で、微入のかは大日本の務報國會本年度發算 小游野世儿园

協力数、配利原生助成型、生活指成金、技能人力能上型、國民動員 き、右目的達成のために釣りの鍬

任命され、京た酸伙隊指揮官には 司令官土肥原賢二大將、同參解長

【ストツクホルム一日同盟】中部 | に彫刻した、 数垣は一日早朝ベリ |

同學器被四十

在 同間目被仰付 解軍中接 金子市五四 医卵巢中毒

儀仗兵諸兵指揮官 土肥原賢二大將を任命

獨機、ロンドン空襲

午前十時五十分、一齊に擧行 に於いて午前十時五十分に東京日比谷公園内源場にて首相の玉串奉賀の時刻を押して適相式を駆行することに決定し、

いては本府及び各官顧學校等 放山本元帥國務常日期鮮に於 放山本元帥國務常日期鮮に於

的な空中ゲリラ酸を試みつくあり、たっていた。対し、わが陸翼病・銃部隊は、たっていた。 餘の空軍勢力をもつて屋軍占領地然に粉碎し去ったが、最近敵は底 地弧微攻艦によってその企圖を未 類に勢し、わが陸軍航空部隊は奥 して對日宗殿を企場する在文米学、「デッドビー」四型九秒及びロツ。ら于戦かの機震を市外の前中に投て〇〇基地(日同盟) 鹿殿 既々と [時牛ごろ住葬りもなくコンプリテ] ごの間敵はわか猛魔になす所を知 區なかんづく前級地區に對し消極 彼我の間に一大空中職を交へたの れ国島沙市及び岳州に來吸し來つ キードハドソン五機はピー四〇型 ち、ピー四〇型二種を確置に整弦一極まる散の猛動は走らにわが形数 たが、特機中のわが荒酷は直ちに 脱闘機計機に振驱されて敗隊に分 ーデッドピー二四型九機及びロツ これを適職、軍馬上空に於いては

一酸地に不時沿せしめ、他は滔々の

感で夕間に紛れて遁走した、教物 十数機はわが占領地區内あるひは

約二萬を成切りに一日朝の交替時

スならびにアパラチャ縦川労働組

消

崩々をる荒野は一般も逃がさじと

クからの諸情報を綜合するに、世

では巨下ジョン・ルイスをはじめ

以上の情勢に狼狽した政府皆局

こ罷業に入つたケンタツキー州北

ワシントンならびにニユーヨー

世五萬が罷棄を採開するに至つた

炭坑夫の概能学は全く不可避の形

下して迷げ去らんとしたが、闘志

三回にわなりロンドンを空襲した。願をつぶけてゐるが廿一日午後四~を遊じピー四〇號二帶を驚騰した億、突盗頭将近頭盜頭が世一日ゆ)とれが篠庭的総罪に寛照繁説の善 一方既州上空に於いても空中職「一日本」 赤軍を隨所に壓迫

すると共もに爆撃機一機に関し、 の好餌となるばかりで隣の成力不 英艦隊ジブラを出港

一一門に戦場を地乗したといはれ、

はジョン・ルイスの指令を待たす 間を利し、東部路州の鎮山労働者

取の死物混らの抵抗を振して激素。 からす、 断頭の反動に動ゆるに基 動して赤斑蛇兵・破蛇六ケ所を張動・ドナヤ・ドビナ河畔の契衛ベリ 落を使つて猛反動に動し、、沿海地 のドイツ地は一日髪如 様で大機動戦を脱削してあるが、 ルブルグの赤斑兵蛟域を耳皮脱戦と、また出大攻勢を開始、不意を飾かれた赤 ドイツ地は磯快した地區を寸土も ドイツ地域衛下破壊跡を耳皮脱戦を下皮脱戦のであるが、 ルブルグの赤斑兵蛟域を耳皮脱戦を下皮脱戦のの形式を開始して表す。 によればレニングラード周邊地區 た、右のうち若干は地中海方面へへ廿一日朝ジプラルタルを出港し 航空母賦三隻は若干の驅逐艦を従

獨軍中部地區で攻勢

脱逐数四隻が同港に投資したれる、なは世一日朝巡洋監一隻、れる、なは世一日朝巡洋監一隻、 航空母歐三叟は若刊の顕家殿を唯一着した。デービスはルーズベルトルに配泊中であった英主力殿三要。日アラスカのフェアバンクスに到 【リスポン特徴州一日發】アルベースベルト特頭ジョセフ・デーピ スは空路モスコーからの協途世へ

【リスポン一日同盟】アルジエ

來電ー北附反福軸里司令部は、

12良不化涡兒小

生 (專賣特許 529



かりとり出し「危寒下四の代物で突襲に湿が壊せ」

あるため、強信局では非常時ラジ な時に こそラジオが一番 必要で

はパツサル・イカン(魚市場)

----- 魚市場--- マカツサルの朝

密防國 町南東衛所

辨理士試驗

小船を漕いで国國の海に出た原 から明ける、水文ましのやうな

内地の移動演劇隊來鮮

明けと共に海の

整修金上主命を打破し決成で日本「熱サ日田在熊龍源・町海院を訪問(東京體記)過去の郾城を風頭して「夜東京帰還八日顧問を初日として

魚が進ぶと騒が 일일

台の動きの疑問など難話的な嬰ー心と協力心を強関したもので鍵へ、響端音楽起(図不得気化)亦

職時における無職放送は橄欖を誘一られると 放送中止 するが、こん

オの傾命送成のため鯨内主要都市

に何級政治貨施の計量を研て本年

华島に有線放送實施

原の回魂を悩え立たせて五日は故山本元郎図 葬日を迎へる、武励干古に無る故山

従間の題しい人情美談

「海州」忠州郡郷の郡

VC

取

り交す土産の

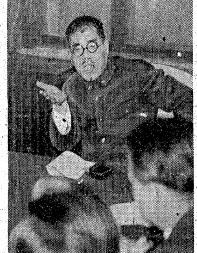
包

鹽田農林局長ご床屋のかみさん

d'

)性 田中總監 日中總監 る語に團者記

等どうか、といくは昔のやうじ と、 図る場かである 廻るべうになつただらう、牛肉



監總務政中田るす見會と團者記 長)は二日朝妻みちさんを同作 る一日から展開された自金の回収 な老まで陸減するのだとめつて去決戦だ、介年こそ鬼畜米英を完膺 白金献納

仮に立てませつへと巡勘した【寫

藁工品の増産

お上げして下さいませっと持動 「新山質」「参秀山土様により、殿家師の記の姿物にあるので原始、 時間見識する何時に避らぬこの二人の職 り加飯料金の東江が安中に中のと、時間見識する何時に避らぬこの二人の職 り加飯料金の東江が安中に中のと、 に動言を似候に行を破験する何時に避らぬこの二人の職 り加飯料金の東江が安中に中のと、 に動言を似候に行を破験する何時に避らぬこの二人の職 り加飯料金の東江が安中に中のと、 に動言を似候に行き及、 時間見識する何時に避らぬこの二人の職 り加飯料金の東江が安中に中のと、 に動言を似候に行きない。

苗代の肥培管理

ける水稻田代品評価は六月上

推手金を表見る成北巡索の窓」・海を研やすくにありとされ
するとになった、組伝伝で一 下水酸性線の 増成の 聖都は

決戦するラジ

して多角形態薬製器に再接足 [羅南] 水震王國のはの頃命

なる仏像財が要せられ、戦時

漁撈→多角經營

月別漁獲割當決る

味める 安東證券株式 大日本兵 社 教育的意义

たからしたからしたからし に出て跡 が、単独に ねたのだ







環境のおどろきは他にも 801 年川英治(4 年) 吉川英治(4

ー トドラるか、種りがのぼるかと。 いまに、関脳の後方から、火の

が的中したので

かぶとしかるよ。

歯痛にまれた

生々しき實戦記録映畵の工築かれた此れはその幾多英麗の尊き散華によ

から、一の待り

特迷唐段若勝拔戰

十を一 八邦時代 年謝半生

一切謝絕)
一切謝絕)
一切謝絕)
一切謝絕)
一切謝絕)
一切謝絕) 部

恒原の第一回域時報図は、客第 萬側の幸運

ふの 市況

殿監視員を代表して肝内南睾町出 器を双肩に開方に活躍、米英字器 岩現 地便り

番乗り

国際は分差山が密風行星紫山泉が一切ので、第一回阪戦・等(十一か

在の結果第六回報國一等(五国穷